

# 化学療法計画書

ID					
氏名					
生年月日					
実施部署			発行日		
身長 (cm)	160	体重 (kg)	50	体表面積 (m <sup>2</sup> )	1.50

指示医師:			
指導医師:			
投与開始予定日:	年	月	日
投与終了日:	年	月	日

病名	急性骨髄性白血病
治療法	ビダーザ+ベネクレクタ併用療法

	1	2
抗癌剤・商品名	ビダーザ	ベネクレクタ錠
規格	100mg	10mg 50mg 100mg
一般名	アザシチジン	ベネトクラクス
一日投与量(規定)	75mg/m <sup>2</sup>	1クール目 day1 100mg 1クール目 day2 200mg 1クール目 day3以降 400mg
患者情報から算出した一日投与量	<b>112.58 mg</b>	
実際の投与量	<b>110 mg</b>	
	<b>73.3 mg/m<sup>2</sup></b>	
投与日	day1-7	day1-28
1クール期間	28日間	
予定クール数		
検査スケジュール	原則的に投与日に化学療法施行前セット 検査データに応じて臨時に検査実施	

適応基準	急性骨髄性白血病
推奨経口剤	○このレジメンは軽度催吐性リスク群です。推奨される経口制吐剤はありません。
禁忌	1.本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者 2.妊婦又は妊娠している可能性のある女性
中止基準	投与前の好中球数:500/mm <sup>3</sup> 未満、血小板数:25,000/mm <sup>3</sup> 未満 骨髄機能が回復するまでは投与延期 (CTCAE ver4.0 における Grade4 の血液毒性およびベネクレクタの添付文書内の記載に準拠)
副作用	<p>●<b>ビダーザ</b></p> <p><b>重大</b> 1.骨髄抑制 2.感染症 3.出血 4.間質性肺疾患 5.心障害 6.ショック、アナフィラキシー 7.肝機能障害、黄疸 8.腎不全、腎尿細管性アシドーシス 9.低血圧 10.腫瘍崩壊症候群</p> <p><b>その他</b> (10%以上) 食欲減退、悪心、便秘、嘔吐、下痢、注射部位反応(紅斑、発疹、そう痒感、硬結等)、発熱 (1~10%未満) 咽頭炎、菌血症、口腔カンジダ症、尿路感染、肺感染、上気道感染、気管支炎、蜂巣炎、口腔ヘルペス、ヘモグロビン減少、ヘマトクリット減少、低カリウム血症、LDH増加、低リン酸血症、低アルブミン血症、血中ブドウ糖増加、総蛋白減少、高尿酸血症、低ナトリウム血症、頭痛、浮動性めまい、味覚異常、結膜出血、鼻出血、呼吸困難、口腔咽頭痛、咳嗽、口内炎、腹痛、腹部膨満、上腹部痛、痔核、消化不良、口唇炎、発疹、そう痒症、紅斑、点状出血、アレルギー性皮膚炎、血中クレアチニン増加、尿中蛋白陽性、尿中血陽性、疲労、倦怠感、体重減少、脱力感、浮腫、挫傷、四肢痛、粘膜の炎症、血腫、背部痛、CRP増加</p> <p>●<b>ベネクレクタ</b></p> <p><b>重大</b> 1.腫瘍崩壊症候群 2.骨髄抑制 3.感染症</p> <p><b>その他</b> (10%以上) 悪心、下痢、嘔吐、食欲減退 (10%未満) 便秘、口内炎、腹痛、疲労、無力症、血中ビリルビン増加、胆嚢炎/胆石症、体重減少、低カリウム血症、関節痛、浮動性めまい/失神、頭痛、血中クレアチニン増加、呼吸困難、出血、低血圧</p>
備考	<p>腫瘍崩壊症候群発症回避のために以下の内容に留意すること</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●白血球数が投与開始前に25000未満となるように調整すること</li> <li>●次のスケジュールでカリウム、カルシウム、リン、尿酸、クレアチニンの測定を行うこと 1クール目 day1およびday2: 投与前、投与6~8時間後 1クール目 day3: 投与前、投与6~8時間後、投与24時間後</li> <li>●投与開始前から1クール目 day3まで1.5~2L/日の水分摂取を促すこと</li> <li>●高尿酸血症治療薬の投与を検討すること</li> </ul>

ビダーザ+ベネクレクタ併用療法 観察記録

所要時間:1時間

氏名: ID( ) 年齢: ( 才)

施行日		クール	回目	施行前内服薬( )	入外( )
医師	指示医師: ビダーザ ( mg ) 一般名(アザシチジン)	<b>抗癌剤用量</b> 計画書設定量 計画書設定量より減量 計画書設定量より増量 減量・増量理由			抗がん剤以外の薬剤の変更・追加
	<input type="checkbox"/> 投与決定 <input type="checkbox"/> 未決定 <input type="checkbox"/> 延期・中止	投与開始時間	調剤	実施	
投与指示	本体	側管			
	生食100mL	生食100mL +ラモセトロン1A +デカドロン 0 A	1時間かけて点滴【100mL/h】		
	生食50mL+ビダーザ ※注射用水で溶解 ※薬剤調製後1時間以内に 投与完了すること		30分かけて点滴【200mL/h】		
			10分かけて点滴【 300 mL/h】 ※ルート内も本体接続部まで 投与すること		
本体終了後抜去					